

横浜市金沢団地協同組合防災訓練

金沢団地協同組合
29. 7. 24

平成29年7月21日(金) 防災訓練の一環として、組合理事、鳥浜経営研究会会員及び企業従業員の有志による、防火訓練を実施し23人が参加しました。

海上災害防止センター防災訓練所は、主に船舶、石油コンビナート等の火災を想定した消防訓練施設であり、海上保安官等関係者の訓練が主ですが、中小企業の工場も、建物構造及び危険物の設置等から、一般住宅等とは異なり、船舶火災に近いと考えられることから、同施設により実際に近い状態で、基本的な消防法を訓練・研修することを目的として実施しました。

今回の訓練は、中小企業組合を対象とした初めての訓練であり、特別に企画・実施していただいた事業です。

防火訓練参加者14人は、横須賀市新港町に所在する防災訓練所研修所において、講習を1時間半受講し、昼食後、理事等研修者と一緒に、消防訓練を実施する千葉県富津市、東京湾の中央部に位置する第二海堡へ通船で渡りました。

第二海堡は、明治から大正にかけて首都防衛のため建設された、東京湾の人工島(要塞)です。現在では、同研修所の消防演習場が設置されており、実際の火を使用できる消防訓練場になっています。

講習で学んだ火災の原理、弱点を狙い、実際の火と戦う(FIRE FIGHTING)訓練において、消火器の使用方法1つにしても、知識の通りに実際できない事、火災の放射熱の強烈な暑さを身をもって体験することとなりました。

緊張感と教官の熱心な指導により、短時間で多くの事を学び感じた訓練であり極めて有益な研修でありました。

訓練終了後、現在では立入禁止となっている貴重な戦跡である第二海堡と、東京湾を真ん中から見る大パノラマを見学し、無事研修を終了しました。

